

小樽の魅力を全国へ

日本遺産の認定に向けて

市は、市内に点在する歴史的価値が高い文化財を活用し地域の活性化を図るため、日本遺産の認定を目指しています。

●日本遺産とは

日本遺産は、地域の歴史的の魅力や特色を通じて文化・伝統を語る「ストーリー」を文化庁が認定し、国内外に発信する取り組みです。2020年までに全国に100件程度バランスよく点在させ、地域の活性化を推進する目的があります。この取り組みは平成27年にスタートし、現在54件が認定されています。北海道に関連するものでは、今年の4月に2件認定されました。申請をするには、地域に点在する遺産を「文化財群（国指定・選定文化財を必ず1つは含める）」として1つにまとめ、ストーリーを展開することが必要です。

日本遺産には次の2つの種類があります。

【地域型】

市町村内にある国指定・選定文化財を核として、単独でストーリーが完結するものです。歴史文化基本構想が策定済みであることなど条件があります。

【シリアル型】

複数の市町村にまたがってストーリーが展開するものです。

※日本遺産への認定は、それぞれの条件が整えば両方申請することも可能です。

市内にある
国指定・選定文化財



国指定重要文化財
旧手宮鉄道施設



国指定重要文化財
旧日本郵船小樽支店

●今後の予定

市は、すでに認定された市町村からの情報収集を行っていくとともに、講師を招いてのシンポジウムの開催や、市民の皆さんが考える日本遺産の素材募集などを予定しています。各事業については、今後、広報おたるやホームページでお知らせします。

◆詳細 商業労政課日本遺産等担当 ☎ 4111内線319、FAX 7432

熱中症の症状とは

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、大量の発汗
- 頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、倦怠（けんたい）感、虚脱感、普段と様子が違うなど

さらに重症化すると…

- 返事がおかしい、意識消失、体が熱い、けいれんしているなど



熱中症を予防するための工夫

●室内

扇風機やエアコンで温度調節する、遮光カーテン・すだれを使用する、室温をこまめに確認する

●外出時

日傘や帽子を着用する、日陰を利用する、こまめに休憩をとる、飲み物を持ち歩く、日中の外出を控える



●衣服

通気性が良く、速乾性の高い素材でゆったりとした風通しのよい衣服を選ぶ

●日常生活

こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給する、バランスの良い食事と十分な睡眠で体調を整える、ウォーキングなどの適度な運動で日頃から汗をかく習慣をつくる

熱中症とは、暑い環境にいて、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。熱中症は、気温だけでなく、体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。そのため、気温がそれほど高くない日でも、湿度が高く風が弱い日や、体が暑さに慣れていないときは注意が必要です。ほかに、高齢者は温度に対する

感覚機能が低下するため、室内でも熱中症になることがあります。また、乳幼児は体温調節機能が十分に発達しておらず、さらに地面の照り返しの熱を強く受けるため、注意が必要です。熱中症の症状や予防のための工夫については左の囲みをご覧ください。◆お問い合わせは、保健所健康増進課 ☎ 3110、FAX 7432 へどうぞ。

熱中症は予防が大切です

7月は熱中症患者が増加する時期です。正しい知識を身につけ、体調の変化に気を付けるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。